

ひかりが丘小学校マニフェスト(中期学校運営計画)

計画期間

平成18年12月1日～平成23年3月31日

学校教育目標

「感じ、考え、心豊かに活動しながら自ら生き方を学ぶ子どもの育成」

- ① 子どもが、心で感じ、考えをもって活動する学習を大切にします。
- ② 子どもが、体験活動を通して問題解決を図る主体的な生き方を学ぶ学習活動を大切にします。
- ③ 子どもに、自他の存在や自然を尊重する心が育つ学習活動を大切にします。

学校経営方針

◎開かれた特色ある学校づくりをするために、教職員一人ひとりの職務の明確化を図り、連携・協働して学校経営にあたります。

取組① 地域人材の活用やかかわりを広げたり深めたりできるようにします。

○新しい地域一体型行事を創ります→「ゆめフェスタ・ひかり」、「エキスポ・ひかり」

取組② これからのひかりが丘小学校の教育の在り方について地域・保護者・職員と共通理解を図っていきます。

○地域との連携、地域の参画を進め、学校・地域の活性化に取り組めます。(PSY)

○教育・学習ボランティアを導入し、活動を推進するコーディネーター組織「ひかり本部」を立ち上げます。

◎あたたかい人間関係を育て、一人ひとりの思いや願い、悩みを受けとめ子どもに寄り添った学級づくりを実践します。

取組① 自分らしさを発揮できる場の設定と、お互いを大切にし合える集団づくりを行います。

○自分なりに、そして友達とがんばれて楽しかったといえる活動を工夫します。

取組② 豊かな体験を通したり、問題解決活動を取り入れたりして主体的に取り組む態度を育成します。

○宿泊体験学習、身近な四季の森公園、ひかり池等を生かして、体験的な活動を取り入れ、自主性や主体的な態度を育成します。

指導の重点

◎基礎的な学力が身に付くようにするために、共に学ぶ学習の充実を図り、楽しく学習できるような学習形態等を工夫します。

取組① その子にあった指導と、共に学び合う学習の展開を通して、基礎・基本の学力がつくようにします。

○一人ひとりの実態把握をていねいに行います。

取組② 「できた」「わかった」など、学習する楽しさを実感できるように、身に付けさせたい力を明確にし、体験的、具体的な授業を展開します。

取組③ 体験や自然とのふれあいを通して、心身共にたくましい子を育てます。

○4・5年生の子浦体験学習、6年生の片品・日光体験学習の充実を図ります。

改善の視点

児童の力を高めます
教科等の指導の充実を図っていきます

取組目標

◎個に応じた指導に取り組めます。

・小規模校のよさを生かし、一人ひとりの力の把握に努め、その子にあった指導を工夫します。

・個人差の大きく現れる算数で習熟度別指導を取り入れ、一人ひとりに力をつけるようにします。

・教育ボランティアを導入し、子どもたちの思いや願いに対応したり、きめ細かく接したりして関心・意欲を喚起し主体的な態度を育成します。

◎教科等の指導の充実を図ります。

・読書活動の充実を図り、朝の読書を工夫し実施します。

・道徳の授業の充実を図り、地域・保護者に公開します。

・教員の授業力を高めるため研究授業を一人年2回行います。

児童が多様な体験をしたり、かかわりを広げたりできるようにします

◎多様な体験やかかわりの場を提供します。

・4・5年生が子浦で海の活動を、6年生が片品・日光での自然体験を重視した宿泊体験学習の充実を図ります。

・ゆめフェスタ・ひかりでは、地域やボランティアの協力を得て、体験したり、地域の方との関わりを深めたり、広げたりする機会をつくります。

・6校時枠等を利用して、英語や合唱、習字などボランティアによ

	る学習の機会を広げます。
学校を開きます	<p>◎地域の教育力の活用を図り、学校と地域とで学んだり活動したりする楽しさの共有を図り、地域の方の生き甲斐にもつながるようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひかり本部を設置し、地域と学校でボランティア活動のコーディネートを試行します。 ・学校にボランティアの方が休憩や着替え、交流などに利用できるボランティアルームを用意します。 ・ボランティアの活動の広報に努め、「地域の学校」意識の向上に努めます。そして、学校の敷居の高さの解消を図ります。
安全・安心な学校づくりを進めます	<p>◎児童の安全確保に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メール配信システムの充実を図り、緊急対応及び不審者情報を迅速に伝え、児童の安全確保を図ります。 ・学援隊をさらに充実させ、登校時の安全を図るとともに低学年児童の下校時の安全の確保を図ります。

人材育成の考え方	<p>全学年単級という小規模な学校であるので、一人の職務は多く、多方面にわたっている。初任者も、1年目よりその職務は多く重いものがある。そこで、学校運営組織や校内の研究会等でチームとして活動する中で若手を育成していくとともに、ベテラン教員のキャリアアップを図る。また、チームとして組織的な学校運営を進める。</p>
平成20年度の重点取組項目	<p>◎パイオニアスクールよこはまの研究指定を受けて、ひかり本部運営委員会を中心にボランティアの導入を図り、学校と地域の活性化を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域コーディネーターによるひかり本部の主体的運営 ・学校・教育ボランティアの活用 ・地域、ボランティアによる6校時枠等講座の活用 ・花やぐまちづくり事業による環境整備の継続 ・通学区域特認校として特色の拡充を図る ・ひかり本部室(コーディネーター事務室、ボランティアルーム)の活用 ・一家庭一支援の推進 ・地域コーディネーターの育成 ・漢字検定の実施により「地域を挙げて学び合うまちづくり」に貢献 <p>◎体験の機会を増やしたり深めたりして、主体的な態度を育成できるよう行事の一層の充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4・5年生が子浦で海の活動を中心とした宿泊体験学習の実施。6年生が片品・日光で農山村体験、日本の歴史にふれる活動を中心とした宿泊体験学習の実施 ・異学年との集団行動や、他校の児童との交流を通して主体的な態度の育成を図る。 ・ゆめフェスタ・ひかりでは、地域やボランティアの協力を得て、ひかり本部主体の活動とし、体験や地域の方とのふれあう機会の充実 <p>◎児童の安全確保に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メール配信システムを活用し、緊急対応及び不審者情報を迅速に伝え、児童の安全を確保 ・学援隊や地域ボランティアにより、児童の登下校時の安全を図る。 <p>◎地域や保護者に対してさらに充実した情報発信に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや学校からの各種たよりの充実を図り、学校運営について地域や保護者の理解と協力を得る。 ・メール配信システムを活用し、体験学習の様子などをリアルタイムで保護者に発信する。
これまでの取組結果	<p>◎パイオニアスクールよこはまの研究指定を受けて、ひかり本部運営委員会を中心にボランティアの導入を図り、学校と地域の活性化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひかり本部の主体的運営 ・学校・教育ボランティアの導入 ・6校時枠講座の活用 ・花やぐまちづくり事業による環境整備 ・通学域特認校の準備 ・ひかり本部室(コーディネーター事務室、ボランティアルーム)の設置と整備 <p>◎体験を重視した行事の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4・5年生が子浦で海の活動を、6年生が片品・日光で農山村体験、日本の歴史にふれる活動を中心とした宿泊体験学習を実施

	<p>・ゆめフェスタ・ひかりを、ボランティアの協力を得て立ち上げ、体験したり地域の方とふれあったりする機会を創る</p> <p>◎ネットデイを実施し、より充実した学習環境の整備に取り組む。</p>
教育懇話会の意見	<p>○生き甲斐、やり甲斐を学校と地域と一緒につくってほしい。</p> <p>○ボランティアと子どもの教育のつながりを明確にして、交流ができるようにすることが大事ではないか。逆に学校がボランティアとして何ができるのか考えてほしい。</p> <p>○地域にはいろいろな考えがあるので、それを取り込んでいく方向で学校運営を進めてほしい。</p> <p>○学校行事と地域行事の融合を図れないか。</p>

※1 この計画は、横浜市教育委員会の定める「学校版マニフェスト(中期学校運営計画)」として策定したものです。 ※2 ◎は重点項目